

Chugin

NEWS RELEASE



平成31年3月13日

株式会社 中国銀行

「TSUBASAアライアンス」への武蔵野銀行の参加について

当行、千葉銀行（頭取 佐久間 英利）、第四銀行（頭取 並木 富士雄）、伊予銀行（頭取 大塚 岩男）、東邦銀行（頭取 北村 清士）、北洋銀行（頭取 安田 光春）および北越銀行（頭取 佐藤 勝弥）では、3月13日（水）、「TSUBASAアライアンス」に武蔵野銀行（頭取 加藤 喜久雄）が新たに参加することに合意しました。

地方銀行の広域連携の枠組みである「TSUBASAアライアンス」では、平成27年10月の発足以来、フィンテックや事務・システム共同化など幅広い分野で連携を進めてきました。

今般の武蔵野銀行の参加によりアライアンスは8行となり、連携分野の拡大や共同事業の実施によってお客さまサービスの向上やコスト削減効果の実現を目指します。

8行が一丸となって戦略的アライアンスを一層加速させ、付加価値の高い金融サービスの提供等をつうじて地域社会の持続的な成長に貢献してまいります。

<TSUBASAアライアンス概要>

沿革	平成27年10月 当行、千葉銀行、第四銀行の3行で発足 平成28年 3月 伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行が参加 平成28年 7月 共同出資によりT&Iイノベーションセンターを設立 平成30年 4月 北越銀行が参加 「TSUBASA FinTech共通基盤」の提供開始
連携目的	・地域の持続的な成長や金融システムの高度化、参加行グループの企業価値の増大に資する連携施策の立案・推進 ・参加行のトップライン増強、コスト削減に寄与する施策の立案・推進
これまでの主な連携施策	・フィンテックベンチャー向けビジネスコンテストの実施 ・オープンAPIに対応した「TSUBASA FinTech共通基盤」の共同運営 ・事務・システムの共同化推進 ・シンジケートローンの共同組成 ・新事業領域の開拓に向けた研究

以上